AQ5311D
AQ5311D BK

取扱説明書
【保証書付】

もくじ

安全にご使用いただくために 1
1. ご使用の前に 5
　特長 5
　標準付属品 5
　各部のなまえ 6
　コンピュータとの接続 7
　コンピュータの設定 9
　パネルの高さ／角度調節 10
　パネルの回転方法 10
2. 操作手順 11
　調整メニューの内容 12
　画面の調整 15
　パワーマネージメント機能 18
3. 故障かなと思ったら 19
4. クリーニング 20
5. アフターサービス 21
　保証書／保証期間について 21
　修理サービス 21
　オプション部品 21
　リサイクル／廃棄について 21
6. 付録 22
　一般仕様 22
　対応信号タイミング 23
　信号入力コネクタのピン配列 24

日本語

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- ■ モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- ■ 電源コードおよびACアダプタは付属のものを使用すること。

- ■ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- ■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店またはイーヤマサポートセンターまでご連絡ください。
- ■ 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

日本語

愛情点検	長年ご使用のモニタの点検を！			
	ご使用の際このようなことはありませんか	●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。 ●キャビネットが異常に熱い。 ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。 ●使用中に異常な音や振動などがある。 ●その他の異常や故障がある。	⇒	ご使用を中止してください 故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

安全にご使用いただくために

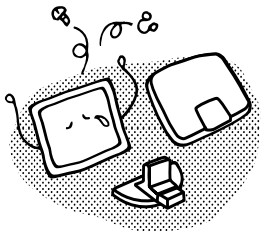
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠警告

プラグを抜く

万一、異常が発生したら

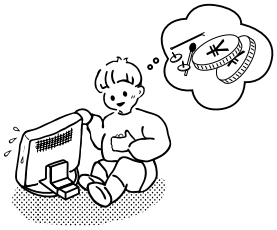
煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。

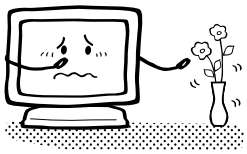


禁止

プラグを抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。



禁止

プラグを抜く

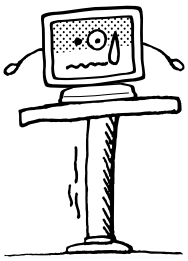
花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 3 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

⚠ 警告

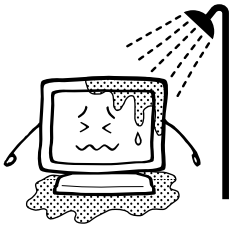


禁止

プラグを抜く

不安定な場所に置かない

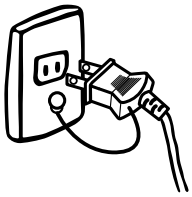
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店またはイーヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

接触禁止

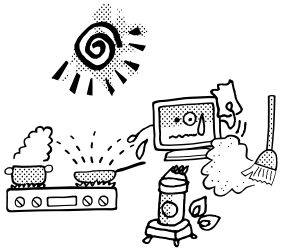
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 4 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

⚠ 注意

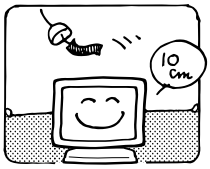


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



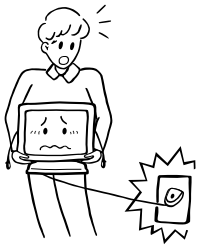
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

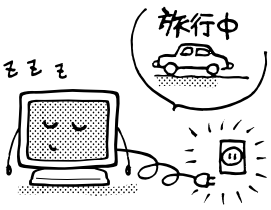
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

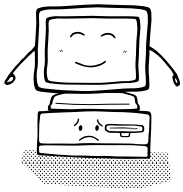
移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

AQ5311DBK-j.p65 Page 5 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

⚠ 注意

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

日本語

故障ではありません

■ お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合がありますが、故障ではありません。画面位置を正しく調整してご使用ください。

■ ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがありますが、故障ではありません。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。

■ 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがありますが、故障ではありません。

■ 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。

■ 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
・画面の表示パターンを変える。
・数時間電源を切っておく。

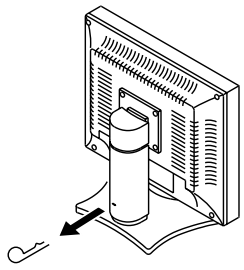
■ 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用のバックライトユニットに取り替えてください。(ご自分での交換は絶対にしないでください。)
詳しくは販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

AQ5311DBK-j.p65 Page 6 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

1. ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

本製品をご使用になる前に、スタンド後部のストッパーピンを外してください。その際、スタンド内部のバネの反動が生じますので、ゆっくりと外してください。



特長

- ◆ 52.8センチ (20.8インチ) TFTカラー液晶モニタ
- ◆ 最大2048×1536 (QXGA) モードをサポート
- ◆ 超広視野角高精細パネル採用
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能搭載
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応
  Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
- ◆ 低電磁波設計
  MPRⅢ適合
  パワーマネージメント機能搭載
- ◆ 鮮明な画像を実現するデジタル入力(DVI-I)対応
- ◆ 90°回転機構搭載
- ◆ VESA規格(100mm×100mm)対応

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

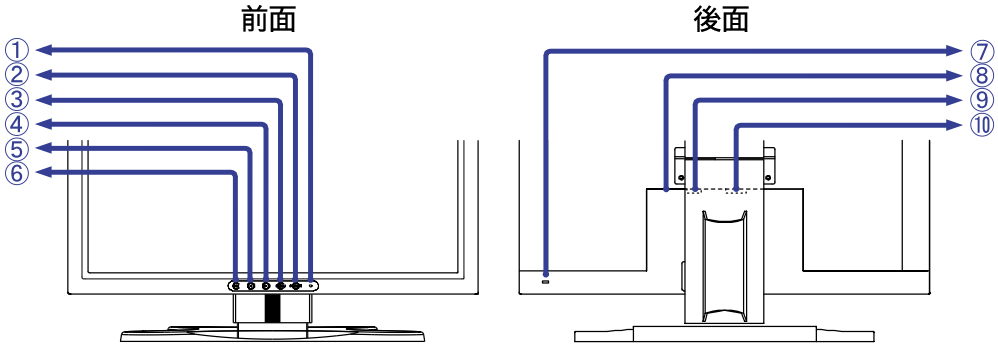
- ■ 電源コード*1
- ■ D-SUB信号ケーブルMB32*2, MB36*3
- ■ ケーブルカバー
- ■ 結束バンド
- ■ 取扱説明書/保証書（本書）
- ■ ACアダプタ
- ■ DVI-D信号ケーブルDV65*2, DV64*3
- ■ ACアダプタホルダー
- ■ 丸型ネジ

補足 *1日本以外でご使用の方へ
本製品を日本以外の国でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。
*2AQ5311D付属品
*3 AQ5311D BK (キャビネット：黒色) 付属品

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 7 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

各部のなまえ



① 電源インジケータ

補足 緑色点灯：通常動作時

橙色点灯：パワーマネージメント時

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネージメントモードになります。

② 電源スイッチ（POWER）

③ MENUボタン

④ ▶／コントラスト調整ボタン

⑤ ◀／ブライトネス調整ボタン

⑥ EXITボタン

⑦ 盗難防止ロック用ホール

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

⑧ ACアダプタ接続コネクタ (DC-IN)

⑨ D-SUBミニ15ピンコネクタ (ANALOG RGB)

⑩ DVI-I 29ピンコネクタ (DVI)

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 8 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

コンピュータとの接続

⚠ 警告 ■ 安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

⚠ 注意 ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

補足 ■ パネルを回転させて縦長にすると、ケーブル類が接続しやすくなります。
(P.10「パネルの回転方法」参照)

■ ケーブルは、スタンド後部のケーブルカバー内部にまとめることができます。ケーブルの配線方法については次ページを参照してください。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.24「信号入力コネクタのピン配列」参照)

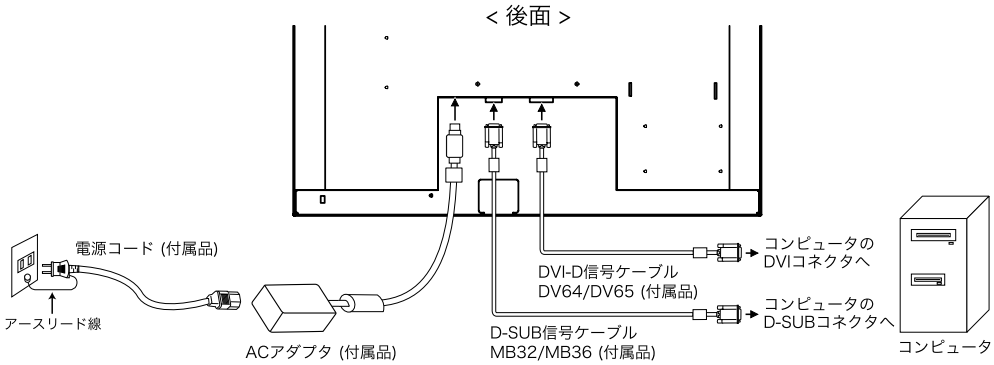
補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

③ モニタ本体のACアダプタ接続コネクタにACアダプタを接続します。

補足 ACアダプタは、付属のACアダプタホルダーでモニタ後面に取り付けることができます。ACアダプタの取り付け方法については次ページを参照してください。

④ ACアダプタに電源コードを接続し、電源コードをコンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

[接続例]



日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 9 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

ケーブル、アダプタ等の品名を青色で記載しています。

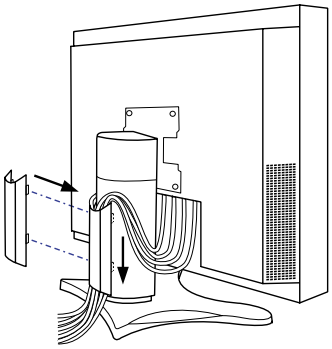
接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機（DOS/V）IBM	D-SUB ミニ15ピン	D-SUB信号ケーブルMB32/MB36（付属品）		D-SUB ミニ15ピン
NEC PC98				
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタPC98 パーツNo.242Z020-01	D-SUB信号ケーブル MB32/MB36（付属品）	
Macintosh*1	D-SUB 15ピン	変換アダプタMAC パーツNo.T985V003-30	D-SUB信号ケーブル MB32/MB36（付属品）	
AT互換機（DOS/V）IBM	DVI-D 24ピン または DVI-I 29ピン*2	DVI-D信号ケーブル*3 DV64/DV65（付属品）		DVI-I 29ピン
Macintosh				

補足 *1 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。
*2 DVI-I 29ピン接続時は、デジタル信号のみの対応となります。
*3 デジタル信号のみ対応可能なケーブルです。

[ケーブルの配線方法]

① ケーブルをスタンド後部で束ねます。

② 付属のケーブルカバーをスタンド後部の穴に差し込み、下方向にスライドさせて取り付けます。



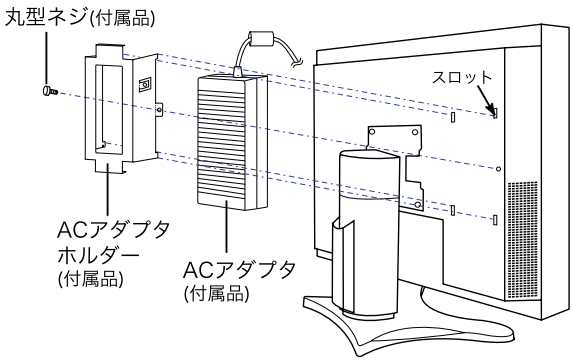
日本語

[ACアダプタの取り付け方法]

① ACアダプタホルダーをACアダプタに取り付けます。

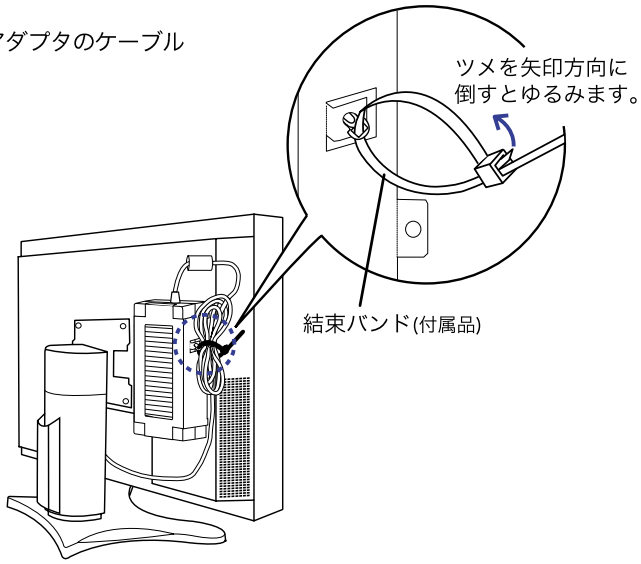
② モニタ後面のスロットにACアダプタホルダーのツメを4ヶ所合わせて差し込み、下方向にスライドさせます。

③ 付属の丸型ネジでACアダプタホルダーを固定します。



AQ5311DBK-j.p65 Page 10 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

④ 付属の結束バンドで、ACアダプタのケーブルを束ねます。



コンピュータの設定

■ 信号タイミング

お使いのコンピュータと本製品をはじめて接続する場合は、コンピュータの信号タイミングをVGAに設定してから接続してください。

映ることを確認しながら、本製品がサポートしているお好みの解像度(P.23「対応信号タイミング」参照)に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XPプラグ＆プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ＆プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス　http://www.iiyama.co.jp

補足
- ■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。
- ■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカ等にお問い合わせください。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 11 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

パネルの高さ／角度調節

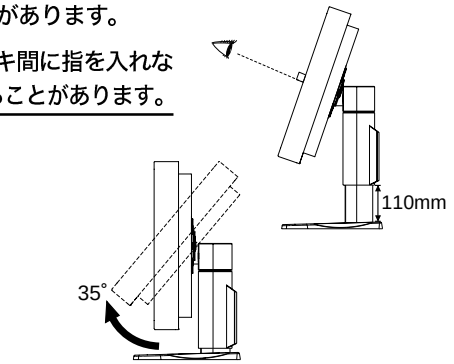
⚠注意 ■ 調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

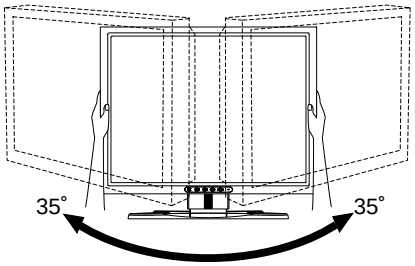
■ 調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

■ 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

■ 高さ調節や角度調節の際は、パネルの左右を持って行ってください。

■ 高さ調節範囲は110mm、角度調節範囲は左右各35°、上方向35°です。





日本語

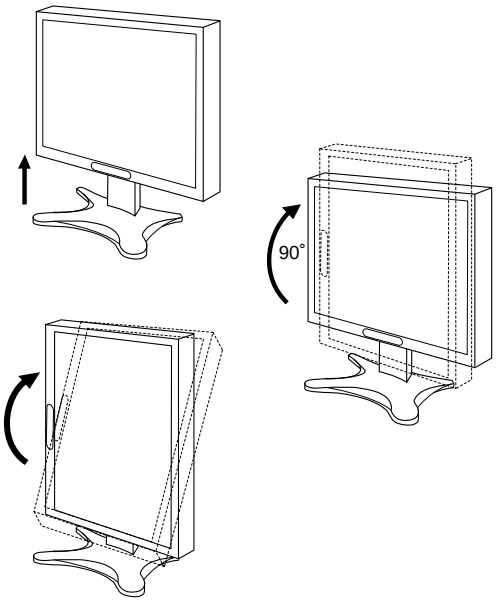
パネルの回転方法

① パネルの高さを最大にしてください。

② パネルを90°回転させます。
横長→縦長：時計回り
縦長→横長：反時計回り

補足 無理に回転させようとすると、回転機構を破損する原因になります。

③ お好みの角度に調節してください。



AQ5311DBK-j.p65 Page 12 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

2. 操作手順

P.23の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。画面の調整方法および手順については、P.15「画面の調整」を参照してください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

① MENUボタンを押すと、画面にメインメニューが表示されます。◀／▶ボタンでカーソルを移動します。

② ◀／▶ボタンで調整したい項目のアイコンを選択し、MENUボタンを押します。

③ ◀／▶ボタンを使って調整や設定を行います。

④ EXITボタンを押すと直前の画面に戻り、調整内容が記憶されます。

補足
- 調整中にボタン操作を中止すると、設定した任意の時間でオンスクリーン表示が消えます。（P.13,14「OSD表示時間」参照）
- オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
- フェイズ、ピクセル、画面位置の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 13 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

調整メニューの内容

言語(LANGUAGE)で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

ANALOG / DVI-ANALOG入力時

調整項目			画面の状態/調整ボタン
ブライトネス *1 BRIGHTNESS	ダイレクト調整		暗すぎる ▶ 明るすぎる ◀
コントラスト CONTRAST	ダイレクト調整		弱すぎる ▶ 強すぎる ◀
表示設定 IMAGE SET-UP	自動調整 *2 ダイレクト調整		フェイズ,ピクセル,水平位置,垂直位置の4項目を自動で調整します
	マニュアル	フェイズ ピクセル	模様、文字がにじんだりちらついている ▶ ◀
カラー COLOR	プリセット1		9300K
	プリセット2		6500K
	プリセット3		5500K
	ユーザーモード	赤 緑 青	弱すぎる ▶ 強すぎる ◀
OSD表示位置 OSD POSITION	水平		左によっている ▶ 右によっている ◀
	垂直		下によっている ▶ 上によっている ◀
入力選択 INPUT SELECTION	ANALOG		D-SUB信号を選択します
	DVI-ANALOG		DVIアナログ信号を選択します
	DVI-DIGITAL		DVIデジタル信号を選択します

*1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

*2 調整方法および手順については、P.15「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- ブライトネス：メニュー画面を表示していない時にブライトネス調整ボタンを押します。
- コントラスト：メニュー画面を表示していない時にコントラスト調整ボタンを押します。
- 自動調整：　メニュー画面を表示していない時に◀／▶ボタンを同時に押します。

AQ5311DBK-j.p65 Page 14 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

調整項目		画面の状態/調整ボタン
水平位置 H-POSITION		左によっている ▶ 右によっている ◀
垂直位置 V-POSITION		下によっている ▶ 上によっている ◀
表示サイズ *3 IMAGE SIZE	等倍	画面中央に入力信号と等倍の表示をします
	全画面	画面全体に拡大表示します
言語 LANGUAGE	ENGLISH	英語表示
	FRANCAIS	フランス語表示
	DEUTSCH	ドイツ語表示
	ITALIANO	イタリア語表示
	ESPANOL	スペイン語表示
	JAPANESE	日本語表示
OSD表示時間 OSD TIME		5秒～60秒まで、オンスクリーン表示が消えるまでの時間を設定します
インフォメーション INFORMATION		製品の型名、製造年、現在受像している信号の水平および垂直周波数が表示されます

*3 XGA(1024×768)未満の解像度で「等倍」を選択している場合は、MENUボタンを押してもメインメニューは表示されません。一度「全画面」を選択してからメインメニューを表示させてください。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 15 14/10/15, 17:49 Adobe PageMaker 6.5J/Win

DVI-DIGITAL入力時

調整項目			画面の状態/調整ボタン
ブライトネス *1 BRIGHTNESS ダイレクト調整			暗すぎる ▶ 明るすぎる ◀
コントラスト CONTRAST ダイレクト調整			弱すぎる ▶ 強すぎる ◀
カラー COLOR	プリセット1		9300K
	プリセット2		6500K
	プリセット3		5500K
	ユーザーモード	赤 緑 青	弱すぎる ▶ 強すぎる ◀
OSD表示位置 OSD POSITION	水平		左によっている ▶ 右によっている ◀
	垂直		下によっている ▶ 上によっている ◀
入力選択 INPUT SELECTION	ANALOG		D-SUB信号を選択します
	DVI-ANALOG		DVIアナログ信号を選択します
	DVI-DIGITAL		DVIデジタル信号を選択します
表示サイズ *2 IMAGE SIZE	等倍		画面中央に入力信号と等倍の表示をします
	全画面		画面全体に拡大表示します
言語 LANGUAGE	ENGLISH		英語表示
	FRANCAIS		フランス語表示
	DEUTSCH		ドイツ語表示
	ITALIANO		イタリア語表示
	ESPANOL		スペイン語表示
	JAPANESE		日本語表示
OSD表示時間 OSD TIME			5秒～60秒まで、オンスクリーン表示が消えるまでの時間を設定します
インフォメーション INFORMATION			製品の型名、製造年、現在受像している信号の水平および垂直周波数が表示されます

*1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

*2 XGA(1024×768)未満の解像度で「等倍」を選択している場合は、MENUボタンを押してもメインメニューは表示されません。一度「全画面」を選択してからメインメニューを表示させてください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- ブライトネス：メニュー画面を表示していない時にブライトネス調整ボタンを押します。
- コントラスト：メニュー画面を表示していない時にコントラスト調整ボタンを押します。

AQ5311DBK-j.p65 Page 16 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

画面の調整

ANALOG入力時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

■ 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。CRTモニタのように好みの画面サイズ、位置に調節するものではありません。

■ 本製品に搭載されている液晶パネルは、2048×1536の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。2048×1536未満の解像度では、拡大表示または画面中央での等倍表示となり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は2048×1536の解像度で使用することをおすすめします。

■ 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。

■ コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。

■ 調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。

■ 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。

■ 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

本製品には、画面の調整方法としてフェイズ, ピクセル, 位置を自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、位置ずれがある場合は手動で微調整を行います。
いずれも弊社ホームページ(http://www.iiyama.co.jp)にてダウンロードできるTest.bmp(画面調整パターン)を壁紙に登録して調整を行います。

次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

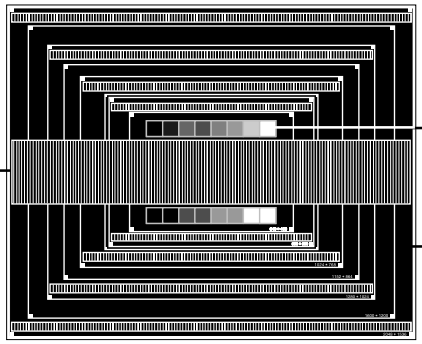
日本語

① 調整メニューの表示サイズで、画面を等倍表示にしてください。

② Test.bmp(画面調整パターン)を壁紙に登録します。

補足
■ 登録方法はお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
■ Test.bmpは、2048×1536のサイズで作られています。コンピュータの設定で壁紙に登録する際、表示位置を必ず「中央」に設定してください。なお、Microsoft® PLUS! 95/98をご使用の場合は、「壁紙の大きさをスクリーンに合わせて調整する」の設定を解除してください。

[調整パターン]

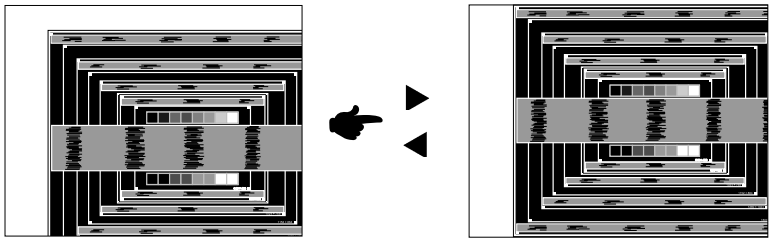


このパターンは、2048×1536の解像度で表示した場合です。

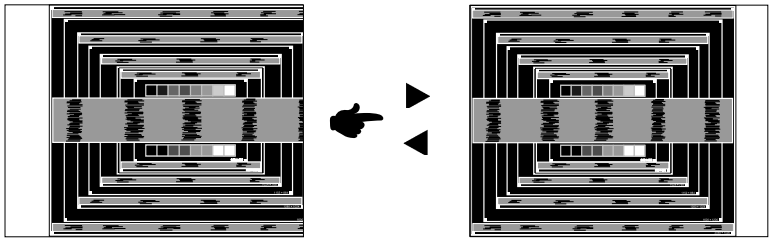
③ 調整メニューから表示設定→自動調整を選択、実行します。
または、メニュー画面を表示していない状態で◀／▶ボタンを同時に押します。(ダイレクト調整)

④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。

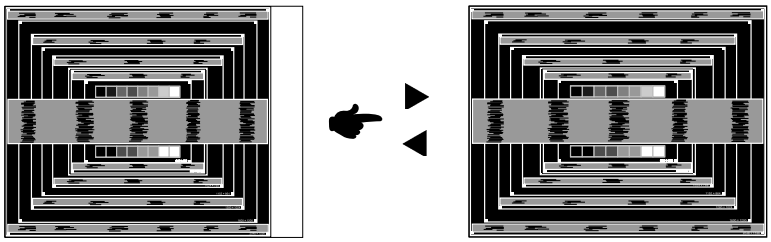
⑤ 調整メニューの垂直位置にて調整パターン(壁紙)の上下枠が表示領域に入るよう調整します。



⑥ 1) 調整メニューの水平位置にて調整パターンの左枠が表示領域の左端にくるよう調整します。



2) 調整メニューのピクセルにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。

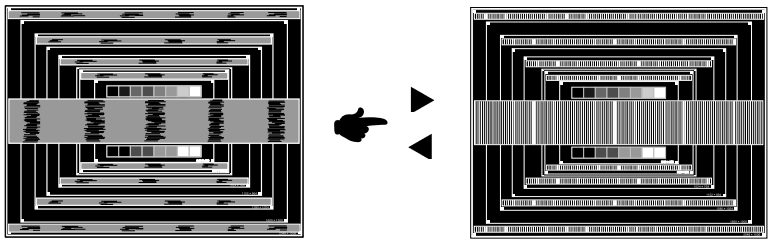


補足
- ピクセルを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、1)と2)を交互に調整してください。
- ピクセル調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
- ピクセル, 水平位置, 垂直位置を調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
- ピクセルを調整しても表示領域に収まらない場合は、 ③からもう一度調整を行ってください。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 18 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

⑦ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェイズにて調整します。



補足 ■ フェイズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、ピクセルが正確に調整されていない可能性があります。⑥からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。

■ フェイズを調整中、水平位置がずれてしまう場合は、フェイズ調整を終えてから水平位置にて調整してください。

⑧ 最後に目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節し画面調整は完了です。お好みの壁紙に戻してください。

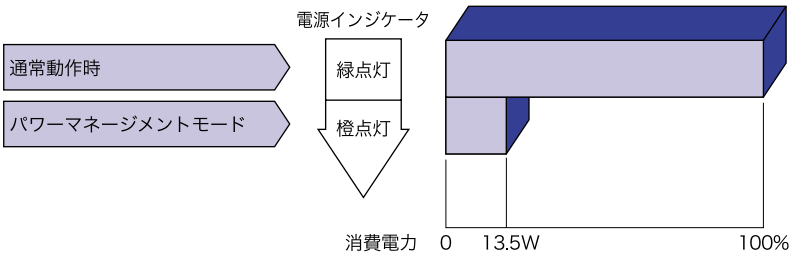
日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 19 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード
コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力 13.5W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足

■ パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

■ 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 20 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

3. 故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「2. 操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない (インジケータ点灯せず)	□ ACアダプタのケーブルが確実に接続されていますか？ □ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源スイッチが「ON」されていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
(インジケータ緑色)	□ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
(インジケータ橙色) 	□ パワーマネージメント状態ではありませんか? マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 入力信号の選択は合っていますか？ 入力選択を切り替えてみてください。 □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
② 画面が乱れている 	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ □ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
③ 画面の位置が片寄っている 	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる／暗すぎる	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑤ 画面が揺れる 	□ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 21 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

4. クリーニング

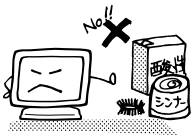
⚠ 警告 ■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

⚠ 注意 ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



・シンナー　・スプレークリーナー
・ベンジン　・ワックス
・研磨剤　・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

液晶パネル 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 22 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

5. アフターサービス

保証書／保証期間について

■ 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。

■ 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期限は本体お買い上げ日より1年間です。ただし、光源のバックライトは消耗品ですので、保証の対象になりません。また、中古販売の製品については1年間の保証は適用されません。

修理サービス

■ 「3. 故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターへご連絡ください。

■ 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイーヤマサービスセンターまでご連絡ください。

■ 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

■ オプション部品をご注文の際にはP. 8の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

■ 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

■ リサイクル/廃棄については、イーヤマサポートセンターへお問い合わせください。

AQ5311DBK-j.p65 Page 23 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

6. 付録

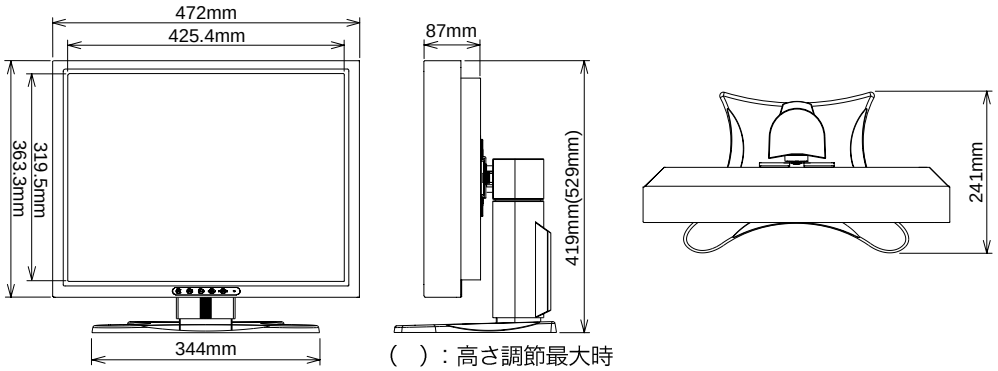
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

液晶パネル	駆動方式	TFT
	サイズ	対角：52.8cm／20.8″
	画素ピッチ	水平 0.207mm×垂直 0.207mm
	輝度	235cd/m² (標準)
	コントラスト比	300：1 (標準)
	視野角	上下左右各85°（標準)
	応答速度	50ms (標準）68ms (最大）（黒→白→黒)
最大表示色		16,777,216色
走査周波数		水平：31.5～96.0kHz　垂直：60～75Hz
ドットクロック		239MHz (最大)
解像度		2048×1536 (最大)
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ DVI-I 29ピンコネクタ
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC2B™対応
入力同期信号		セパレート同期：TTL，正極性／負極性 コンポジット同期 ：TTL，正極性／負極性
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p (標準)，75Ω，正極性 デジタル：DVI (デジタルビジュアルインターフェイス規格 Rev.1.0) 準拠
最大表示範囲		水平：423.9mm　垂直：318.0mm
入力電源		付属ACアダプタ：AC100～230V 50/60Hz 2.5A（出力DC12V 8.33A) モニタ本体：DC12V 6.9A
消費電力		100W (最大) パワーマネージメントモード時　13.5W (最大)
外形寸法、重量		472（幅）× 419～529（高）× 241（奥行）mm，9.5kg
角度調節範囲		左右各35°　上方向35°
環境条件		動作時の温度：　10～35℃ 保管時の温度：　−20～60℃ 湿度(−20～50℃未満時)：　20～80％(結露なきこと) 湿度(50～60℃時)：　20～55％(結露なきこと)
適合規格		CE, TUV-GS / MPRⅢ(prEN50279) / ISO 13406-2, FCC-B, UL / C-UL, VCCI-B

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 24 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win



（　）：高さ調節最大時

対応信号タイミング

ビデオモード			水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
DOS		640×350*1,2	31.47kHz	70.00Hz	25.17MHz
		640×480	31.47kHz	60.00Hz	25.18MHz
		720×400*2	31.47kHz	70.08Hz	28.32MHz
VESA	VGA	640×480	37.86kHz	72.80Hz	31.50MHz
			37.50kHz	75.00Hz	31.50MHz
	SVGA	800×600	37.88kHz	60.32Hz	40.00MHz
			48.08kHz	72.19Hz	50.00MHz
			46.86kHz	75.00Hz	49.50MHz
	XGA	1024×768	48.36kHz	60.00Hz	65.00MHz
			56.48kHz	70.10Hz	75.00MHz
			60.02kHz	75.00Hz	78.75MHz
	SXGA	1152×864	67.50kHz	75.00Hz	108.00MHz
		1280×1024	64.00kHz	60.00Hz	108.00MHz
			80.00kHz	75.00Hz	135.00MHz
	UXGA	1600×1200	75.00kHz	60.00Hz	162.00MHz
			87.50kHz	70.00Hz	189.00MHz
			93.75kHz	75.00Hz	202.50MHz
Macintosh		640×480	35.00kHz	67.00Hz	30.24MHz
		832×624	49.72kHz	74.55Hz	57.29MHz
		1024×768	60.24kHz	74.93Hz	80.00MHz
		1152×870	68.68kHz	75.06Hz	100.00MHz
SUN66		1152×900	61.84kHz	66.00Hz	94.50MHz
SXGA 1280×1024			75.83kHz	71.53Hz	128.00MHz
			81.18kHz	76.16Hz	135.09MHz
QXGA 2048×1536			96.00kHz	60.00Hz	238.85MHz

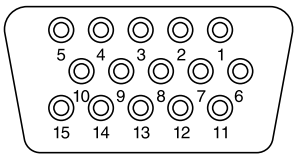
補足 *1 画像の上下方向のサイズはフルスクリーンになりません。
*2 画像の縦横比が４：３でないため、上下方向に間のびした画像になります。

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 25 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

信号入力コネクタのピン配列

■ D-SUBミニ15ピンコネクタ

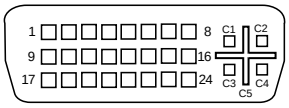


D-SUB

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	+5V
2	緑ビデオ	10	接地
3	青ビデオ	11	接地
4	接地	12	データライン (SDA)*
5	接地	13	水平同期 / コンポジット同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)*
8	青ビデオ接地		

*VESA DDC規格に準拠

■ DVI-I 29ピンコネクタ



DVI-I

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	T.M.D.S Data2−	16	Hot Plug Detect
2	T.M.D.S Data2+	17	T.M.D.S Data0−
3	T.M.D.S Data2/4接地	18	T.M.D.S Data0+
4	T.M.D.S Data4−	19	T.M.D.S Data0/5接地
5	T.M.D.S Data4+	20	T.M.D.S Data5−
6	クロックライン(SCL)*	21	T.M.D.S Data5+
7	データライン(SDA)*	22	T.M.D.S Clock接地
8	アナログ垂直同期	23	T.M.D.S Clock+
9	T.M.D.S Data1−	24	T.M.D.S Clock−
10	T.M.D.S Data1+	C1	アナログ赤
11	T.M.D.S Data1/3接地	C2	アナログ緑
12	T.M.D.S Data3−	C3	アナログ青
13	T.M.D.S Data3+	C4	アナログ水平同期
14	+5V Power	C5	アナログ接地
15	接地		

*VESA DDC 規格に準拠

日本語

AQ5311DBK-j.p65 Page 26 14/10/15, 17:50 Adobe PageMaker 6.5J/Win

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
   尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
   （1）保証書をご提示されないとき。
   （2）本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
   （3）火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異，公害や異常電圧による故障または損害。
   （4）お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
   （5）取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。